



「ポジ育」とは…

一人一人の子育てを今より少しでも楽しく、前向きに取り組めるよう、ポジティブに育児に関わることを願って付けた名前です。

ポジ育通信②

R6.5.13 家庭教育学級 副会長：藤原/教頭：藤原

ゴールデンウィーク（GW）明けは、4月からの新生活に慣れようと頑張ってきた子どもたちが、体や心の不調を訴えやすい時期に入ります。月曜日の朝、大人でも気分がのらないことがよくありますよね。新学期が始まって1か月余り。クラスや担任が替わるといった環境の変化を受けとめ、前向きに取り組んでいるように見える子どもたちですが、実はストレスをため込んでいる場合があります。そこで、この時期の、親としての関わりとして大切なポイントを紹介します。



①おうむ返しや相づち ②否定せずに傾聴 ③共感 ④ささえる意思

コミュニケーションでは肯定も否定もせず、気持ちを吐き出させることが大事です。おうむ返しや相づち、加えて「それは〇〇な気持ちになるね」と共感するなど、子どものありのままの気持ちを受け止め、自分に自信をもつよう促したいですね。

例)

そっか…それは悲しいね

なんかできることはある？

分かった。連絡帳に書いておくよ

学校で A 君に「とうせんぼされた

先生と A 君とちゃんと話したい



参考文献：子どもの逆境に負けない心を育てる本より筆者作成

上記の状況に限らず、親としてどのように関わればよいか、今の関わりが適切だったのか迷う場面がたくさんありますね。懇談会後のアンケート(自由記述)を一部紹介すると、以下のようなことを皆さんが知りたいと感じていることが分かりました。第1回の家庭教育学級「ポジ育サロン」で取り上げていきますので、ご都合のつく方は、ぜひ参加をしてください。子育てのヒントが見つかるかもしれません。

懇談会アンケートより（自由記述）

「子どもとの向き合い方」

「思春期の子どもとの距離の取り方」

「反抗期の子どもとの関わり方」

「子どもへの叱り方」

「子どものやる気を伸ばすほめ方」

「家庭学習のポイント」

「ネット・スマホ・ゲームの扱い方いつから」

「ギャングエイジ期の接し方」

「友達同士の悩みの解決法」

「子どもの自立心の高め方」

申込み・詳細は
次回のポジ育通
信でお知らせし
ます

第1回家庭教育学級(開級式)

6月18日(火)9:30~11:00

多くの方のご参加お待ちしております